



# 学校だより

10月号

平成29年10月3日  
横浜市立善部小学校  
校長 小澤 紀子

## 一つのきっかけから

学校長 小澤 紀子

つい先日夏休みが終わったと思ったら、もう一月が過ぎ季節が確実に進みました。朝晩すっかり涼しくなり、虫の音が聞こえ、見上げればそらに筋状の雲が夏との違いを感じさせます。寒暖の差が激しく体調を崩し熱が出ている子もいます。体調管理には皆様もご注意ください。

さて、今年は本校でみちびき3号機の打上げカウントダウンに参加してから、私の中ではちょっとした宇宙ブームが起きています。

みちびき3号機の打上げにはH-IIAロケットが使用されましたが、その模型を実際に見ることができました。5年生がみなとみらいホールに心のふれあいコンサートに出かけた時のことです。午前中にうっとり音楽鑑賞をした後、午後は三菱みなとみらい技術館で最新科学の見学でした。帰りに最後尾についてふと見ると、出入口の横に1/10のサイズのH-IIAロケットがあったのです。何という出会い。事前に気が付かなかった私もぼんやりしていますが、技術館のスタッフに「これはみちびき3号機打上げに使用されたロケットですか？」と聞くと「はい、そうです。先日打ち上げられました。善部小学校さんもカウントダウンに参加されていましたね。」とのことでした。知っててくれたんだと嬉しくなってしばし見とれた後、「みんなあ。このロケットで…」と声をかけた時には5年生の後ろ姿はすでに遠くに行ってしまうしていました。残念。入り口なので気が付かなかった子も多かったと思います。(何人か気が付いてくれていたら嬉しいな…)

子どもの頃、宇宙の本に太陽系の惑星が描かれていて、それを見たときにぞくっとしたことを覚えています。その後ずっと飽きることなく眺めていたことも。私自身はほんの30分でも車に酔ってしまう子だったので、宇宙に行ってみたいとは全く思っていませんでしたが、宇宙の果てしない広がりや星々が織りなす神秘的な空間に魅せられるものがあったのでしょうか。

その後すぐです。今度はカッシーニのニュースに目が引き付けられました。報道でご存じのとおり、カッシーニは1997年に打ち上げられた土星探査機です。金星・木星に近づき7年の歳月をかけて土星に到着。その後13年間様々な発見や映像・情報を地球に送り続け、20年間の任務を先日終了したという報道でした。打ち上げられた時の記憶はありませんが、金星や木星の写真がテレビに流れると、子どもの頃は絵で見た星の姿が実際の写真となって現れることに本当に驚きと感動を覚えたものです。そして、20年間そのミッションが絶え間なく続けられていたこと。もちろん地球のスタッフも同じ年月をその研究に携わっていたことになります。この20年間で今まで未知の世界だったものが解明されていったのです。打ち上げられた時にはずっと先の未来はあまりにも遠く感じ、現在の発見や技術の進歩はその当時の予想をはるかに超えたことと思います。このような長い年月と不断の努力が科学の進歩を支えていることに改めて思いを馳せました。

思いがけず一つのきっかけから様々な出来事に結び付き広がっていききました。子どもたちにもいろいろなことに興味・関心もてるような、わくわくする出会いと経験をたくさんしてほしいと思いました。それがどこでどんな風につながっていくのかわかりません。けれどもきっと豊かな時の流れに一人一人の未来が近づいてくれることと思います。

ふれあい給食にはたくさんの方にお越しいただきました。各クラスでお迎えする準備を行いました。招待状・名札・席札・司会・言葉などいろいろな役割を経験させていただきました。黄色いベストさんの頃の給食はおいしくなかったけど今はおいしいとの感想や、近くにあるポリテクセンターの方のお話など、地域の方とのふれあいは新たな発見、そして楽しいわくわくであったことでしょう。地域の方々にたくさんの経験という宝物をいただいています。ありがとうございました。

間もなく前期が終了いたします。温かい見守りとご支援に感謝申し上げます。